



MADE IN GOSEN

新潟・五泉市で
ニットづくり55年のサイフクで
「mino」は企画・生産されています。

新潟県五泉市は日本一のニット産地です。
アパレルメーカーのご要望に応え、
品質の良い「made in Japan」の
ニットを生産しています。
「mino」を企画・生産しているサイフクは
1963年よりニット専門メーカーとして、
その五泉市でものづくりを続けています。
ニット生産のすべてに目が届くよう、
社内での生産比率を90%以上まで高めた一貫体制で
クオリティの高い生産を可能にしています。

アフターケア

ファクトリーブランドのminoだからこそ、
自社工場での可能な限りのアフターケアを承ります。
ひっかけによるひきつれや、虫くい穴など、
製品のトラブルの折にご相談ください。
送料をご負担いただき工場にお送り頂いた後に
補修費についてご連絡いたします。



mino-knit.com  

有限会社サイフク 〒959-1837 新潟県五泉市寺沢 1-6-37
TEL: 0250-43-3129 FAX: 0250-42-5481
info@mino-knit.com



mino

2018
summer

「mino」は雪国の冬に使われてきた「蓑」から着想し、新潟で生まれたポンチョブランドです。

nico 2018 spring

長方形のニット地の両端に2個スリットの入った羽織タイプのポンチョです。首元から二の腕までをしっかりと覆い、日焼け対策・冷房対策に効果的です。また、首に巻くなど、シーンによって使い分けができます。



¥9,500(+tax)
W:160cm ×H:70cm

Styling



sode

手の甲から腕全体を包むアームカバーです。単品でのご使用はもちろん、nicoとの組み合わせも楽しめます。washiを使った5色をご用意しました。



¥3,800(+tax)
50cm



kaze

》季節を編む《

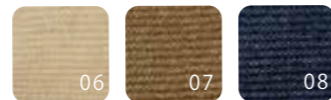
material

夏素材のコットンとリネンに、ハリコシのあるレーヨンを加えた糸を使いました。

yarn

「季節を編む」をコンセプトに、四季を編み地で表現するシリーズです。2018年の夏は「風とおるmino」をテーマにしました。ざっくりと編んだ編み目が風を通し、盛夏でも涼やかに羽織っていただけます。落ち着いた3色をご用意しました。

50% rayon 33% cotton 17% linen
182-03-05



アイボリー カーキ ネイビー



linen border

material

リネンは亜麻科の一年草で、比較的涼しい地方を中心にフランス北部で多く栽培されています。天然繊維の中で最も涼しいと言われる麻は、吸水・発散性に優れ、通気性が良く、さらっとした涼感が特徴です。

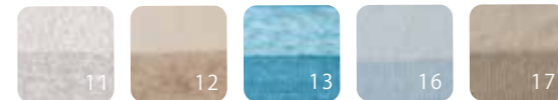


麻

yarn

極細のリネンを、ナイロンでカバーし安定させました。繊細な中にも麻らしい表情と、しなやかさを併せ持つ糸です。糸を1本で編んだ部分は透け、2本で編んだ部分と差が出ます。軽く、見た目にも清涼感あるボーダーを作りました。

89% linen 11% nylon
162-04-05



ホワイト×ホワイト ベージュ×ベージュ ターコイズ×ターコイズ サックス×サックス ライトグレー×ライトグレー



washi

糸：澤田(株)

material

和紙は植物から作ります。今回 mino では、繊維の長い針葉樹の木の皮を原料とした糸を採用しました。



針葉樹

yarn

和紙を糸にするには、厚さを一定に保ち、細くカットする技術が必要です。その糸には繊維に細かい隙間が多いため、湿度を適度に吸水発散する機能が備わっています。和紙独特の軽さと、さらりとしたドライタッチが新しい感触として人気を集めています。夏の日差しに映える5色展開です。

60% rayon 40% 指定外繊維(和紙)
nico:172-02-05 sode:172-02-06



レッド イエロー ブルーグリーン ブルー ライトグレー